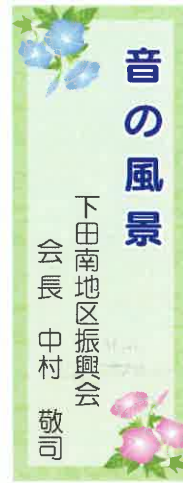


**下田南地区振興会だより**

# 会報 小田床

■発行第59号■  
【発行責任者】  
下田南地区振興会  
会長 中村敬司  
【連絡先】  
下田南地区コミュニティセンター  
42-3612



下田南地区振興会  
会長 中村 敬司

今年の梅雨明けは今までで最も早い6月28日頃でした。全国的に早かったのですが僅か3週間足らずで、夏の水不足が心配ではありません。毎日、30度を超える暑い日が続いています。高齢になると温度に対する感覚が薄れてきますので、熱中症には周りの気配りも大事かと思えます。

相変わらず、新型コロナウイルスの感染者が増え続けています。今年の夏は大丈夫と思っていました。行動制限はないようですが、抗原検査が無料で受けられる予定ですので、自身や家族の為に検査を受けて安心して帰省できると良いですね。

振興会役員が改選されました。平畑憲二副会長さん始め、旧役員の方にはお世話になりました。お疲れ様でした。これまで同様よろしくお願

いいたします。また、新たに白石憲博副会長始め新役員の皆様、これからもよろしく願います。

さて、NHKのラジオ放送で「音の風景」という5分間の紀行番組があります。NHKのPR文には「想像をかきたて、記憶を呼び覚まし、心を潤す音の数々。5分間の音の旅をお楽しみ下さい。」とあり、祭りや朝市の様子など、各地の何気ない風景を、音で切り取って放送されています。音にまつわる、昔の記憶がよみがえり、とても懐かしくなります。

小田床でも田植えから収穫までの間、夜になるとオタマジャクシから成長した力エルたちの、求愛の合唱が始まります。9月になると鈴虫たちの鳴き声も聴こえます。長く住んでいる私達には、ごく身近な心地よい音で就寝の妨げにはなりません。皆さんもラジオで聴いてみませんか？懐かしい音に巡り合えるかもしれませんよ。

おいしいお米に食味分析された

## 「天草こざとこ里海米汐風」

さとみまい

今年も食べて応援してください

全国的にコロナ感染拡大が未だに予断を許しません。皆様お元気で過ごして下さい。

さて、下田南地区の水田の利用調整を図る「下田南地区営農改善組合（発足4年目）」、農地を守り維持する農作業部隊として「天草こざとこ農事組合法人（発足2年目）」の両組織は、先祖から引き継がれた、良好な自然環境の形成、文化の伝承等田んぼの多面的な機能を促進するために、地域の皆様方に草刈りなどご協力をいただいで一緒に米づくりに励んでいます。

後継者不足が課題ですが、嬉しく、心強いエースが誕生しました。ダスキンに勤め、下田南で、奥さんと3人の幼子家族の中村拓見さんです。また、昨年、この地に移住してきた石隈洋昭さんほか小野貴郁、佃哲二さんらも力強い戦力です。

令和3年産は、食味分析で「おいしいお米」と評価されました。しかし、コロナ禍で在庫を多く抱えましたが、3月にキャンペーンを行ったところ多くの皆様のご支援を賜り、6月には完売することができました。ありがとうございました。

令和4年産は、4月に田植しまし

た、美味しいふるさと米コシヒカリを8月に収穫し、出荷販売に取り組みます。

皆様には、小田床の田園風景が維持保全できるよう、故郷のブランド米「天草こざとこ里海」を買って食べて、御支援をいただきたく心から御願い申し上げます。

**下田南地区営農改善組合**  
組合長 佃 忠久  
代表理事 白石 憲博

**天草こざとこ農事組合法人**  
代表理事 白石 憲博



新米のご注文は、お名前、住所、電話番号などを明示のうえ「天草こざとこ里海米」の申し込みとお知らせ下さい

代金：精米 2kg 800円 5kg 2,000円 10kg 4,000円  
(送料別途：発送時にお知らせします)

【申込先】天草こざとこ農事組合法人  
〒863-2802 天草市天草町下田南 2497  
TEL 090-4994-7608 (白石憲博)  
FAX 0969-42-3520 (佃忠久)  
メール kozatoko2019@gmail.com

【代金振り込みの場合】代引きも可能です  
天草こざとこ農事組合法人 代表理事 白石憲博  
あまくさ農業協同組合西支所  
口座番号：0086722





### フィンランド発祥

## モルックとは？

12本ピンを倒すことから始まる、ボウリングのよう。交互に投げて(モルックの棒)点数を競ったり、相手の得点を邪魔するのは、カーリングやビリヤードのよう。

### やってみれば面白い！

ピンを倒すだけ倒せば勝ちではない。はまってしまいそうです。



## モルック大会 初開催！



六月十二日、コロナ前に「レクレーション大会」と称して開催していたイベントが、3年ぶりに「モルック大会」にリニューアルして戻ってきました。モルックという新しいスポーツは、年齢を問わず誰でも出来て、ルールも難しくないで、日本中でじわじわ競技人口が増加中だそうです。

担当する健康部会では事前に皆でやってみて、正式なルールを下田南バージョンに改変。当日の運営方法等、あれこれ検討を重ねて準備をしました。当日は奇跡的に晴れて(前日は大雨だった)、60人の参加者があり、グラウンドに設置した5面のコートで熱戦が繰り広げられました。「モルックって何？」という人も多かったのではないかと思います。楽しいので、ぜひ来年も開催したいです。狙いを定めて投げたはずの木片が思わぬ方向に飛んで行ったり、あと

石松由紀子





# ウォーキング大会

三月二〇日に行われたウォーキング大会、総勢六十五名が参加しました。ゆったりコースとほりきりコースに分かれ、小田床の自然や仲間との会話を楽しみながら参加者全員が完歩することができました。

参加した小学生達も「お友達と一緒に歩いて楽しかった。」や「また参加したい!!」など嬉しい言葉をくれました。

普段、行く機会の少ない場所を歩くことで見つかる新たな発見や様々な出会いを参加した方々は感じて頂けたのではないかと思います。

健康な体をつくるために、運動は必須となります。普段から少しずつ体を動かすクセをつけるためのきっかけ作りに、このウォーキング大会が役立てばと思っております。来年も皆様の参加をお待ちしております。

健康部会 中村 拓見



# クリーン作戦

梅雨入り直後の六月五日(日曜日)小ぬか雨降る中、予定通り始めました。合羽の中で汗をかいた後の肌が冷たかったですね。

年に二度のクリーン作戦、それぞれの地区の判断で作業は進められています。ここで共通の問題として考えてほしい事があります。それは、土手、川の中の草刈りについて、以前は刈り取った後、河川敷で乾燥させ、そこで焼いて



いたようですが…。今は、切りっ放し、自然界に帰る、とは云え大雨が降れば川下に流れた草は、浜地区の仕事として後日、処理しているようです、その他鉄クズ等も流れついているのか。



クリーン作戦の名の如く、皆でクリーンな作戦、知恵を出し合おうではありませんか。

白石 宣子





# 天草スマホカレツジ 下田北校ご案内

天草スマホカレツジは令和元年、天草市老人会クラブ連合会が発案・発足・現在天草島内10か所、島内でスマホカレツジ卒業生が300人以上。高齢者が受講生の中心であるが50代後半の人も増加しております。最初は「わからん・むずかしか」とぶつぶつ言いながらもそのうち面白くなってきて受講を続ける人が多くなってきました。今年4月から大江校も立ち上げ、天草西海岸地区は河浦校を含めて3校となり良い意味での競争意識が高まればよいと思います。下田南地区でもスマホまたは携帯を持っていない人は少ないと思います。無料アプリの活用は防災・行政申請にも役立つ世の中の仕組み自体がスマホ・携帯がなければ暮らしにくい時代になってきます。

固いことは抜きにしてお孫さんやふるさと離れた子供たちと気楽に無料アプリで人生を楽しんでみませんか。

天草スマホカレツジ下田北校

校長 藪本 房雄

## よろしくお願ひします

- |                  |                 |                 |
|------------------|-----------------|-----------------|
| 役員               | 会長 中村 敬司        | 地区(つくり)副会長 伊 勝也 |
| 副会長 白石 憲博        | 副会長 白石 明美       | 地区(つくり)副会長 伊 勝也 |
| 総務部会長 上野 博幸      | 総務部会長 西嶋 隆明     | 地区(つくり)副会長 伊 勝也 |
| 健康部会長 中村 拓見      | 健康部会長 石隈 洋昭     | 地区(つくり)副会長 伊 勝也 |
| 生活環境部会長 鬼海 節子    | 生活環境部会長 伊 恵美子   | 地区(つくり)副会長 伊 勝也 |
| 地域(つくり)部会長 若松 米雄 | 地域(つくり)部会長 伊 修一 | 地区(つくり)副会長 伊 勝也 |
| 監事 中村 昭廣         | 監事 中村 昭廣        | 地区(つくり)副会長 伊 勝也 |
| 監事 平畑 憲一         | 監事 平畑 憲一        | 地区(つくり)副会長 伊 勝也 |
| 部会事務局(健) 中上 初穂   | 部会事務局(健) 中上 初穂  | 地区(つくり)副会長 伊 勝也 |
| 部会事務局(生) 石松由紀子   | 部会事務局(生) 石松由紀子  | 地区(つくり)副会長 伊 勝也 |
| 部会事務局(地) 濱崎 正明   | 部会事務局(地) 濱崎 正明  | 地区(つくり)副会長 伊 勝也 |

## よろしくお願ひいたします



今年7月に熊本から故郷に帰って来りました。下田南の団地に入居しております。白石竜次、妻 優美、長女 優姫です。よろしくお願ひいたします。

## 短歌コーナー

小田床讀歌(菅農組合に敬意を表す)

甲高き啼き声響し山の端に姿現す北帰の鶴群  
野口 眞澄

浚ひたる井手にたちまち水満ちて春の陽射しを反し耀ふ

はらはらと花びら散らし菜の花が田の土もろとも鋤き込まれゆく

這ふごとく背をかがめて老いふたりひすがら峡田に早苗植ゑ継ぐ

ふんはりと焼きたてメロンパンのやう新緑萌ゆる里の山々

風にそよぐ青田のなかの一本道郵便バイクが走りゆくなり

つかの間を雨上がりたり青あをと里の田いちめん穂を孕みたり

朝明けを草刈る人の声のして草のほひの風に乗り来ぬ

### 下田南のデータ

世帯 88  
人口 171人 (男77人・女94人)  
高齢化率(65歳以上) 89人  
52.04%  
(令和4年6月30日現在)

### 編集後記

春ごろから、コロナウイルス感染症も収まりかけてきたと思いきやまたもや流行を感じます。特に若年層への広がりを心配しています。

この間、多くの行事の中止や行動制限により日常生活にも変化が見られ、それがそのまま新聞の記事にも影響を受けてきました。

しかし、こうした大変な時こそ知恵を出し合い、力を合わせて頑張りましょう。

取材に協力していただいた皆様、心より感謝いたします。

伊野 修一

ありがとうございます  
ふるさと応援寄付金  
中村 敏彦様 平山 勇 様  
他1名様

善意の寄付金  
中上 英人様  
香典返し  
濱崎 マユミ様